

Web 学校評価【8月】の結果

- 1 方法 8月28日(金)～8月31日(月) まちこみ「イベント出欠」による
- 2 問い 「学校は、この一ヶ月の学校運営を適切に行っているか」
- 3 結果 (470人から回答をいただきました)

実施月	○適切に行っている	×適切に行っていない	△どちらとも言えない
4月	434人(80.5%)	4人(0.7%)	101人(18.7%)
5月	464人(88.0%)	4人(0.8%)	59人(11.2%)
6月	463人(91.1%)	3人(0.6%)	42人(8.3%)
7月	461人(91.5%)	5人(1.0%)	38人(7.5%)
8月	427人(90.9%)	5人(1.0%)	38人(8.1%)

- 4 主なコメント【回答】 ※内容ごとに整理し、まとめて表現しております。

《三者面談、夏休みの学習ほか》

- 個人面談では、受験が少しずつ近づき不安に感じている娘に、先生ならではの確かなアドバイスと言葉がけをくださったことで、娘の不安が随分解消されたようです。本当にありがとうございました。
- 三者面談では、とても丁寧に学校生活の様子を教えていただき、また、この先の進路についても詳しく話をしていただき安心しました。
- 三者面談を通して、特に担任の先生は成績だけではなく生徒の状態をよく見てくださっていると感じました。

回答

暑い中、ご来校いただきありがとうございました。1学期は、対面型の保護者集会が開けませんでしたので、三者面談を実施できて本当に良かったと思っております。

面談の成果が2学期の学校生活や日常生活に生かされるよう、引き続き全教職員で見守って参ります。今後もよろしくお願いいたします。

- 夏休み中の登校日の設定について、登校すること、出席することに意味があるのでしょうかから仕方ないこととは思いますが、せっかく登校しても自習では不要ではないかと思いました。ズームによる遠隔学習が出席に数えられれば良いのですが・・・難しいことだと理解もしています。
- 夏休みの宿題の答えが、出校日の後に渡されたので、もっと早くもらえれば復習がやりやすいと子どもが言っていました。
- 実力テストの前日に2教科の過去問が渡ったと聞きました。できれば数日前に渡していただけると助かります。よろしくお願いいたします。
- 宿題が少ないと思います。

- (水)の6時間授業は、いつ頃まで継続か、目処が立っていれば知りたい。(習い事、通院等のため)

回答

今年の夏休み中の遠隔授業及び登校日(給食有り)は、市教委の指示のもと市内全中学校が同じ動きをしていました。各教科では、教科書を進むだけでなく、夏休みの課題の補充をしたり、実力テスト(模擬テスト)対策を行ったりしておりました。急な出張等で自習になったケースもあったようです。申し訳ありません。今後も子どもたちが「できた・わかった」と感じられるような授業改善に努めて参ります。

宿題の量や解答配布のタイミングなども校内研修の話題とし、適正化を図って参ります。

春先の臨時休業に伴う授業時数や学習内容の遅れは、ほぼ解消しつつあります。

現在教務部で調整し、後期(11月)からは本来の29コマに戻す方向で検討しています。

《学校生活》

- 暑さ対策のための配慮で、ジャージ登校になったのはよかった。
- 短パン短シャツ登校はとても良いと思っています。
- 他県では、元々毎日制服では通っておらず(式や行事以外は基本ジャージ)と見聞きして知っていたので、暑さ対策としても衛生面(毎日同じ服を着る)としてもジャージ登校は良かったと思います。合理的だと思いました。制服は毎日洗えるものではないので、暑さ(季節)に関係なく、衛生面から考えてもう少し着用の頻度を減らしてもいいのでは?と思います。ザックは相変わらず重いそうです。大人の鞆より重いのはどうなのかな?何にせよ、子どもがそれなりに楽しく通っているようなので先生方に感謝です。
- 以前もありましたが、ザックの重さが気になります。

回答

暑さ対策だけでなく、コロナ対策としてもジャージ登校が有効と考えています。しかし、登校時は原則制服というのが、これまでの本校の方針です。今後、登校時の服装について、様々な角度から議論していきたいと思います。

ザックの重さは、「おるすべん」によりかなり改善していると思っておりますが、テスト前などには、毎日持ち帰り、重いザックを背負って登校している生徒も少なくありません。近い将来、タブレットで授業が行われるようになると、教科書とノートが全てタブレットに収納されるようになり、タブレットだけを持ち運ぶ時代がやってくると思っています。今は、計画的に家庭学習を行う「おるすべん」の効果を高めていきたいと考えています。

- 換気対策なので仕方の無いことと思います。来年の今頃は新校舎で涼しくなるのでしょうが、現在の気温が30度以上もある状態で、直射日光の日差しが

長時間当たる環境で授業する場合は、カーテンを引いてほしいと思います。学級によっては窓にスタレがあるらしいです。残暑ももうすぐ終わるかもしれませんが、換気もしながら涼しく学習できる環境を望みます。

- 2学期がスタートし、連日の暑さにはお疲れのことと思います。「マウスシールド」について、使用するかしらないかは個人の自由と書かれておりましたが、クラスで使用している人はいるようです。しかし、英語（口の動きが分かる）の時間にできるだけ使用するようと言われるのであれば解りますが、PTA会費から購入しているのならば、もう少し活用できるようにしてほしいと思います。現在は、家にそのまま置かれている状態です。
- 暑い日が続いている中、毎日先生方には、注意深く子どもたちを見守っていただいていると思います。夏期講習もありがとうございました。あのマスク（マウスシールド）の使用頻度はいかがでしょうか？折角なので使ってもらいたいです。
- 頭髪検査の基準がわかりずらいです。前髪が眉毛から2cmくらい上まで切っても指摘されるようですが、手で押さえたりしているのでしょうか？髪が生えぐせで前に浮いてしまうので、これ以上短く切るのも可哀想です。きまりを厳しくするのであればもっとわかりやすく説明していただきたいし、正直そんな厳しいところを指摘するのかと驚きました。不衛生でもなく、学業や部活動に何の支障もないのであれば、何の問題があるのでしょうか？昔からのきまりが未だに残っているだけのように感じます。意味のある決まりの中で学校生活がより良いものになりますようにご検討よろしくお願ひします。

回答

暑さ対策とコロナ対策を同時に行うことが課題となっております。どのクラスも換気とカーテンを上手く併用しながら教室環境を整える努力をしておりますが、何かのタイミングでご指摘の状況があったのかもしれませんが、すいませんでした。

マウスシールドについては、導入時猛暑対策として効果があるとの情報を受け、PTA役員に相談し実現しましたが、その後冷感性の高いマスクが市販されたり、マスクに慣れマウスシールドに抵抗を感じる生徒が増えたりしていると感じています。ただ、マスクより極めて爽快感が高いこと、口の開きを直接見ることができることなどから、今後も着用を勧めていきます。また、英語や音楽等の授業でも活用する予定です。

本校では、昨年度末、頭髪も含め、学校生活の様々な点を見直し、生徒たちの手で「学校生活の約束」を定めました。（おるすべんもその成果の一つです）頭髪については、「男女とも学習に支障がなく、清潔感があり、表情がわかる髪型」となっています。この基準と自主性を尊重する本校の基本姿勢を全教職員で確認し、適切に指導して参ります。

《部活動》

- 部活動の予定を早く知らせてほしい。
- 夏休みの部活時間がもらったスケジュール表どおりでなく、毎回時間変更があったように思いました。何のためのスケジュール表だったのでしょうか。
- 部活の予定がわからなくて困っています。部活が変更になっても連絡がないので予定表どおりに学校に行ったところ玄関先で帰される。学校から自宅が遠い生徒にとっては酷なことです。また、土日等の休日の予定を早めに教えていただきたいです。部活動休ませたくないと思うのですが、前日や直前だと兄弟や親の予定まで立てられず頭を抱えています。
- 夏休みより新チームでの体制で部活動が始まっております。対外試合なども行われ、西中の部活動に対する協力体制に感謝しきりです。部活動に関して、昨年まで行われていた筋トレデーが現在行われていませんが、そろそろ再開を検討していただけると助かります。週3回、うち2回は1時間半程度の短縮練習ですので、せめてランニングや廊下筋トレなどで場所を上手く確保しながら、30分でも1時間でも残りの週2回の筋トレや持久走など基礎体力向上の練習も再開できないでしょうか？2月末の休校より中止し半年経過していますし、そろそろ再開検討をお願いします。
- 暑い日が続く中、短シャツ・短パン登校はありがたく思っています。日頃から子どもたちのことを考えてくれている先生方に感謝です。ただ、気温が高い中での部活動は大変だと聞いています。水分補給をするために休んでいると、女子は良くて男子は注意されると言っています。男子の方が体力があるとは思いますが、男女差別するようなことはやめていただきたいです。ガッカリします。

回答

部活動のスケジュールについては、月ごとに予定表を作成しておりますが、他校との練習試合等で予定が変更になることもあります。できるだけ正確に、また変更があった場合はできるだけ早くお知らせするよう心掛けて参ります。

部活動の活動時間等については、秋季大会以降(冬期間)の動きについて現在協議中です。なお、合同トレーニングは、例年12月上旬に行っており、今年も実施予定ですが、回数を増やすかどうかを検討してみます。

部活動で、男女を差別して指導することはありません。たまたま、何かの理由で女子を優先させたと思われる。指導者の意図が誤解されないよう、適切に指導して参ります。

《教職員》

- 今年の夏は特に暑いのにコロナのせいで休み返上で授業もしていただき、生徒より先生が大変だったろうと感謝しています。マチコミも細やかで全学年の情報がわかり安心します。これからもよろしくお願いします。
- 高校の先生と接することがありますが、口調が素晴らしく荒いです。柔らかな口調で諭す事も大事ですが、社会に出て対応していくためには怒られ慣れていなければ挫折してしまいます。もう小学生ではないですし、考えられる年齢になってきているので少し厳しくても良いと感じます。
- 学校運営を適切に行っていただきありがとうございます。意見を言うならば、何人かの先生の電話対応、言葉遣いがきちんとしていない感じが見受けられます。あと自転車の乗り方です。注意文があるにもかかわらず、一部生徒が泉川小学校の敷地を自転車で猛スピードで通るのはいかがなものでしょうか。もう一度指導をお願いします。私も卒業生ですが、今になって校則が変わったとかで靴下の丈を注意されたそうですが、書面もなくいきなり年度途中で校則が変更になることはあるのでしょうか？
- ある先生について、一学期の頃から授業がわかりにくいと子どもが話していました。うちの子もただで無く、クラスの大半が先生の授業が理解しにくいと話しているそうです。クラスの大半が言っているのであれば先生に授業の工夫をしていただいた方がいいのでは？と思い、こちらに書かせていただきました。理解できず、先生の質問に反応できずにいると注意されるので、生徒も不愉快だし先生も不愉快だと思います。子どもの話だけ聞いての意見なので鵜呑みにはしていませんが、学校側でも他の生徒に聞いてもらって、対応していただければと思います。よろしくお願いします。

回答

教職員の言動、接遇については、これまでも繰り返し研修しておりますが、改めて全教職員で確認し合い、適切な対応に努めて参ります。

交通安全について、登校時の横広がりや道路の斜め横断等は改善しつつありますが今後も継続して指導します。自転車の乗り方についても、繰り返し指導して参ります。

分かる授業のための指導技術の向上は、我々教員にとって永遠の課題であり、常に学び続けることが求められています。今、本校では、授業力の向上を目的に、校内研修として教員同士の見せ合い授業を実施しています。来年度全面実施となる新学習指導要領がめざす「主体的、対話的な深い学び」が実現できるよう努めて参ります。

《修学旅行》

- 3年生の父兄です。修学旅行についての配慮大変ありがとうございます。青森市内の某小学校でさえ9月の修学旅行で函館へ行く中、西中3年生は県内1泊と非常に可哀想ではありますが、コロナ禍においては仕方の無いことと気持ちを切り替えて参加者生徒は張り切って県内の観光をしてきてほしいと思います。引率してくださる先生方も周囲からの配慮など大変かと思いますがよろしくお願いします。常に適切な対応、心から感謝しており、ありがとうございます。
- 修学旅行等各種学校行事について、勉強と同じくらい大切だと思っています。過度に萎縮しすぎることは問題があると思いますので、適切な判断に期待しております。
- いつもお忙しい中、子どもたちのために時間をかけていただき大変有り難く思っています。修学旅行については、方向が二転三転したこと、本当に悩まれたと思います。最終的には学校行事ですので、学校の意見に賛成します。やるからには子どもたちが「参加して良かった」と言えるような楽しい行事にしてください。
- どこでも構いませんので、修学旅行はやってほしいです。県内の魅力を感じる良いチャンスだと思います。
- 修学旅行に関していろいろ検討し、子どもたちのことを第一に考えていることが伝わり感謝しております。
- 修学旅行について、保護者の不安や希望と子どもたちの思いに寄り添って考えてくださっていること、心より感謝申し上げます。
- 学校に行くことができなくても、タイムラインで様子を知ることができとても嬉しく思っております。修学旅行の件でも安全で安心してなるべく生徒みんなが参加できるように考えてくださっていて、本当に感謝しております。
- 今回の修学旅行実施についての3択という決断にガッカリです。全ての生徒がいずれかのコースで参加するので参加率は100%となりますとのことですが、代替とはいえ、これで修学旅行といえるのでしょうか。思い出づくりでどうしても決行するのであればこういった曖昧な決断は間違っていると思いますし、皆が同じでなければ思い出になりません。また、行くにしても仮にCコースを選択したとしても、Aコース参加生徒が感染したとなればCコース選択した子どもたちの気持ちなどを想像しましたか？それで学校で勉強なら行きたくないから仕方なく行くなど、矛盾な選択肢となるのではと懸念があります。感染者が出た場合、やっぱり行かなきゃ良かったとの後悔。今のご時世、何か行動するときには、想像を働かせて慎重に行動しなければいけないのでは。思い出づくりでどうしても決行するのであれば、こういった曖昧な決断は

間違っていると思います。行くなら皆が同じで無ければ思い出にはなりません。学校経営方針（3）で掲げている命の尊さ、他を思いやる心を大切に
豊かな心を育成と掲げているのであれば、今はあらゆる想像を働かせて、想定して（感染者が出た場合の学校や子どもたちへの誹謗中傷、旅行先の大鰐町住民、ホテル等への感染した場合）子どもたちの安全を第一に、子どもたちを100%守れないのであれば
勇気ある決断も必要なのではないでしょうか。

- お世話になっております。修学旅行の件ですが、前回の岩手方面の案が最終決定だったのでは？何回も最終調査があるのでは振り回されている感があります。また、同じ市内でも中止している学校もあります。なぜ一律にしないのでしょうか？子どもたちの思い出と言うことを考えてくれたのはすごくわかりますが、こうだったなあ、と振り返るのも思い出ではないでしょうか？決定事項なのであれば、子どもと話し合っ
てどうするかは決めますが・・・。
- 修学旅行、1割が反対したら中止するとの文書があったと思うのですが、なぜまた選択があるのでしょうか。何度もムダに悩みます。
- 来年の秋前にはコロナの予防接種が完了している可能性が大きいので、修学旅行は秋にしてほしい。中学で東京方面に行くのは大人になっても忘れない思い出だと思うので、東京へ行かせてあげたい。
- 3年生の修学旅行が終わらなければ決められないかと思いますが、（2年生の修学旅行）予定では来春の事なので現時点でどのように検討しているか知りたいです。

回答

修学旅行について、学校の方針が二転三転し、混乱させたことをお詫び申し上げます。

先日、東奥日報に掲載されたとおり、市内各校でも対応が分かれており、完全に中止が4校、日帰り旅行10校、検討中2校、実施が3校となっています。中止した学校では、調査の結果、5割～8割が不参加希望とのことで中止を決定したと聞いています。

本校の最終調査では、72%が参加、28%が不参加希望でした。不参加の理由は、新型コロナへの不安、県外旅行への不安と家族への影響でしたが、県内であれば参加したいとの声も多数ありました。本来であればそれで中止を決定するべきでしたが、県内であれば参加できる生徒が多数いることから、迷いに迷った末、コース選択制（A:全行程参加、B:日帰り、C:学校でリモート参加）という形で県内一泊旅行を決めました。

最終的にAコース140人（93.3%）、Bコース0人、Cコース10人（6.7%）となりました。

修学旅行の実施に当たり、Aコース、Cコースで参加する全ての3年生にとって、感染防止策を万全にしつつ、青森県の魅力を再確認できるような、コロナであればこれでも無くなった3年生にとって思い出深い安全・安心な修学旅行なるよう努めます。

なお、来年度の修学旅行は、今のところ4月に東京方面へ行くという計画のままですが、保護者皆さまの意見を聞きながら、年内には方向性を決めたいと考えています。

《その他》

- 酷暑が続きますが、これまでと同様に子どもたちの体調管理への配慮をお願いいたします。
- いつも生徒に対して、真摯に対応していると思います。学校が勉強だけでなく、精神的にも成長できるし、楽しい場所であることが何よりだと思っています。そのような雰囲気を作っていたいただいていることを感謝しています。
- いつも、マチコミで学校の事楽しく読んでいます。スポーツドリンクの差し入れ、2学年の日が涼しくて残念でした。
- いつも大変お世話になっております。お忙しい中、マチコミで貴重な情報を送ってくださり有り難く拝読しております。いつもありがとうございます。
- 夏休みにも関わらず、タイムラインで子どもたちの様子をお知らせいただきありがとうございました。
- 子どもが手紙を紛失することがあるので、大事なお知らせなどの場合でもマチコミに添付してくださると見落としが無く助かります。
- 夏休み中の部活など試合結果等まちこみで見るのを楽しみにしていましたが、部活全部の報告はなぜ無いのですか？交流試合だからですか？野球部やソフト部等はマメに方向はあるが、なぜバドミントン部は無いのでしょうか？考えたくないですが、・・・差別？何か理由があるのでしょうか？

回答

まちこみについては、できるだけ多くの生徒の笑顔をお届けしながら、学校の教育活動をお知らせしたと思って配信しています。部活動は、大会の回数や開催時期によって偏りが出ることは懸念材料の一つでした。今後においても、できるだけタイムリーな情報をマチコミでお届けします。

なお、校長が生徒や特定の部を差別することは絶対にありません。

学校からの回答(結びに)

今月も高い評価と前向きなコメントを多数いただきありがとうございます。今月からコメントのすぐ下に回答を掲載することにしました。回答に対して何かご意見がありましたら遠慮なく学校まで連絡ください。2学期は、あれこれ工夫しながら各種行事を実施して参ります。スポーツミーティングや西中祭など保護者の方々に直接見ていただけるものもあります。保護者の皆さまの参画のもと本校の教育活動を一層充実させたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

令和2年9月4日

青森市立西中学校
校長 今別幸司